

(3) 愛知県立知立東高等学校の実践

ア 研究の経過

月 日	活 動 内 容
6月23日	本研究に関する趣旨説明・授業マネジメントシート作成依頼（教科主任会）
7月21日	授業マネジメントシート集約・意見集約
9月28日	授業マネジメントシートと振り返りシートを活用した授業実践（1年物理基礎） 研究協議 会場：愛知県立知立東高等学校

イ 実践

教科主任会を通じて本研究の趣旨を伝え、各教科1単元分のマネジメントシートを作成した。マネジメントシートの作成によって、「単元のどの場面で3観点のうちどの評価を行うのか明確になった」「各教科担当で評価する場面を統一できる」「年間指導計画と重なりがあるため思っていたより容易に作成できた」「単元のポイントが明確になった」など一定の有効性が確認できた。一方、「担当者によって、評価したい場面が違う場合はどうするか」などの問題点も浮き上がってきた。

授業実践は、物理基礎の「液体や気体から受ける力」の単元で行った。主体的に学習に取り組む態度」を記録に残して評価するために、実験の授業を利用して、実験の見通しをもたせたり、結果の考察ができるような振り返りシートを作成したりした。振り返りシートの記述を基に、主体的に学習に取り組む態度を評価し、研究協議を行った。その中で、「採点の基準にはないが、評価してあげたい記述の取り扱いをどうするか」「たくさん記述させると記述のどの部分を評価するのか曖昧になりやすい」という課題が浮き上がってきた。

ウ 成果と課題

本研究の成果として、来年度に向けて準備すべき課題が明確になったこと、主体的に学習に取り組む態度の評価方法がイメージしやすくなったことが挙げられる。これによって、職員で学習評価への関心を高めることができた。課題としては、マネジメントシートの有効性は確認できたものの、担当者間でどの場面で何を評価するのか決めておく必要があることが挙げられる。来年度までにできる範囲でマネジメントシートを蓄積していきたい。振り返りシートについても記録に残す部分の評価が曖昧にならないように、単元で求める姿を想像し、ポイントを絞った問い方を行うなどの改善が必要である。今後は、他の教科でも積極的な実践を促し、成果を共有することで学習評価の在り方に関する意識を高め、学校組織の活性化につなげていきたい。